

ふれあいのひろば

かわら版

平成16年4月1日発行
上平間第二町会
編集責任者 堤 秀夫
印刷所 長谷川印刷(有)

防災シンポジウム開かれる

パネラーとして森会長出席

1月16日エポックなかはらで主催・川崎市、共催・川崎市自主防災組織連絡協議会により、防災シンポジウムが開催されました。川崎市内の7区から1人づつ代表がパネラーとして選ばれ、それぞれ防災活動の取り組み状況を発表しました。中原区代表の当町会の森善一郎会長が、これまで第二町会の取組んできた各家庭を対象にしたアンケート調査や救急救命訓練等をはじめとした諸活動を要領よく発表しました。特に第二町会では「自分の身は自分で守る」、「家族は家庭で守る」、「近隣の人達が助け合う」を大原則に置き、防災が3日間を当てる取組を

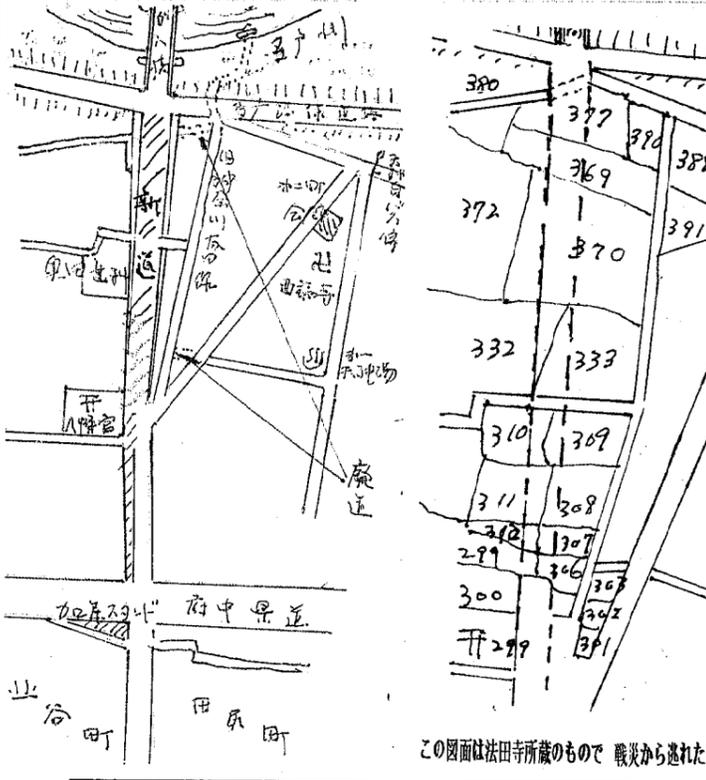
小さな歴史

上平間第二町会顧問
長谷川 英吉

ガス橋架橋にまつわる瓦斯会社との交渉経緯のお話を書きました。これが並行して府中県道と連結する道路建設事業が行われ、残念ですが資料は戦災で消失したので数字をあげて説明はできませんが、あの当時の道路建設の負担区分は「土地」は地元負担、「地上物件補償」は川崎市、「道路建設工事費」は神奈川県と区分されていきました。幸いに北谷町、田尻町は区画整理事業により、加藤スタンプより平間踏切迄は8米幅の用地は確保できましたが、添付図面の様にスタンプより八幡宮前までは旧神奈川太田線道路の拡張でしたが、これよりガス橋までは新設工事となり買収となります。そこで資金の捻出ですが多摩川



していること、また、高齢者や障害者等、いわゆる災害弱者と言われる人々に地域としてどう対応するべきかといった問題を提起しました。その為には良好なコミュニケーションを作る必要があり、高齢者の見守りネットワークを始めとした様々な活動をしていることを発表しました。そして今後の展開として災害救助隊(仮称)の創設を目指して検討をしていることを最後に結びにしました。約千人の観客に感銘を与えた活動報告でしたが参加したK・Yさんは内容がとても良かったと感想を寄せられました。(防災部)



この図面は法田寺所蔵のもので 戦災から逃れたもの

災害救助隊基本構想

検討委員会報告より(要旨)

- ◎自分と家族の身は自分達自身で守る。各家庭の備えと近隣の協力関係を強固にする。
- ◎隣組単位で防災組織を構築して自分の家、近隣の防災・人命救助の協力体制を作る。
- ◎隣組単位の防災組織間に相互に連絡し合う機能を持たせる。
- ◎隣組単位で防災に関する話し合いの場を設け、災害時の家族の連絡、家具の転倒防止、消火器の備え、食料・飲料水の備蓄、非常持出品の準備、近隣の高齢者や障害者の支援体制、近隣での被災者の確認、避難、救援について等の申合せを行なう。
- ◎モデル地区を指定し、実施に伴う問題点を掌握して解決を図っていく。その後、順次、町会全体に拡大していくものとする。
- ◎モデル地区は4区、5区、7区、8区、1区、2区とする。
- ◎町会は地域住民に対する啓蒙と啓発に努め、理解と協力が得られるように全力をあげる。
- ◎町会は関係行政機関と連携を密にし、防災訓練等の継続的、重点的な事業を実施する。



介護問題勉強会

第二町会の実施している独居老人等見守りネットワークの輪の中核に位置しているのは、言うまでもなく、ひらまの里・在宅介護支援センターであり、その理解と協力がなければ、見守りネットワークは成り立たない。町会では地域に張り巡らせたアンテナからの情報を、如何に迅速、的確に伝えるかが肝要で、それには、ひらまの里との緊密な協力関係を常に心がけておく必要がある。本年2月には昨年引き続き3回シリーズの介護問題勉強会を開催し、82人の受講者があった他、毎月1回ミニセミナーの開催、老人ホームのシーツ交換、居室の清掃等のボランティアに参加する等している

地域社会の支え合い ひらまの里と地域の連携



ミニ・デイサービス、ポピーの花を作る シーツ交換

平成16年度催物等行事予定

- 4月初旬 ・親子ふれあい「桜の花を見て歩く会」
- 5月初旬 ・皆んなで助け合い「赤十字募金」協力
- 7月中旬 ・親子で楽しもう夏の風物詩「納涼花火大会」
- 9月上旬 ・一家に一人の市民救命士「救急救命訓練」
- 9月15日 ・お年寄りに感謝の気持ちを込めて「敬老の日」
- 9月下旬 ・清潔で美しい町づくり「市内統一美化活動」
- 10月初旬 ・皆んなで支え合い「赤い羽根共同募金」協力
- 10月27・3日 ・元気で祝おう町の祭典「八幡神社例大祭」
- 11月3日 ・健やかに競おう「玉川地区町内会連合運動会」
- 11月上旬 ・さわやかな空の下「親子ふれあい芋煮会」
- 12月初旬 ・歳の瀬を心豊かに「歳末助け合い募金」協力
- 12月29・30日 ・安心して暮らせる町「歳末夜警パトロール」
- 1月10日 ・青春高く揚げよう「親子そろって凧揚げ大会」



歳末警戒のパトロール

世界遺産ビデオ放映

イタリアとエジプト

豊かな幅広い芸術文化を誇るイタリア、人の知恵では到底計り知ることの出来ない古代エジプト、世界に誇る遺産のビデオ放映を2月8日に町会会館で行いました。一区の大沼隆子さん、6区の関根根江さんは、とても良かったと感想を話され、放映が終わると参加者から盛んな拍手が起きました。最後に文化部の近藤智子さんが、今度は是非旅行して肌で感じたものですと締め括りました。(文化部)

安心して暮らせる 町づくりを

上平間第二町会は川崎市消防局から「防火モデル地区」に指定されました。それを受けて町会内に住宅防火対策推進協議会も設置されました。防犯の面でも警察官と共同で夜間のパトロールを隠密裏に実施しております。町会の役員理事、委員さんの自転車の前籠には、「防犯パトロール中」の覆いをして、犯罪者が近づくかない町になる様にしております。明るい町にするよう努力しています。

止めさせよう不法投棄

不法投棄は未だ続いています。自分だけ良ければ他人の迷惑は構わないというモラルの欠如は、とても情けないことです。他人から注意される前に、自分でルールをしっかりと守る様にしましょう。不法投棄行為には皆んなで監視をしてきれいな町にしましょう。(衛生部)

親子ふれあい風揚げ大会



午前10時きっかりに青空野球部の小学生達25人が監督の指導の元一列に整列して、町会の青少年部の役員に対して主将の篠沢雄多君(5年)が今年も野球で頑張りますと宣誓して風揚げ大会が始まりました。参加した子供さんは、134人でお父さん、お母さんを入れると300人を越えました。みんな風が舞い、グランドを駆けて風を揚げましたのでとても良い運動になりました。8、2区にお住まいの鈴木康嗣さん、晃子さんご夫婦は凛々さん(5才)と一緒に初めて参加し、何とか風は揚がりましたと喜んでいました。最後に参加者全員にお汁粉が振る舞われミカンも一個づつ貰いました。とても楽しい風揚げ大会でした。



南島で終戦。武装解除されて延々と中国大陸を歩き続け、上海から日本に帰国した。何んとか帰れたから良かったが、沢山の戦友が亡くなっている。

★思い出コーナー★ モチの木は無くなった



武州橋本郡日吉村 鹿島田の百姓清右衛門宅の庭先には、折からの西日をいつぱいに浴びてモチの木が寒々とした影を落している。口伝によれば、その昔、一三三三年、鎌倉幕府滅亡の時、北条氏の落人榎將監なる者が、ここに庵を構えその娘婿が沼田家の祖先と言われている。さて、沼田盛次さんは、大正7年生まれで満85才、上平間第二町会の中興の祖と言われている。この度、人生の思い出を語っていただいた。

昭和14年、甲府の歩兵49連隊に入隊したが、それは三菱重工東京製作所で、戦車を造っていた。17年11月除隊。19年6月召集。支那駐屯歩兵第三連隊として中支で激戦に参加する。中国軍と50メートルの距離で戦闘したこともしばしばであった。弾薬も無

沖縄県具志川市から 福祉関係者が来訪

全国在宅介護支援センター協議会の調査報告書で、ひらまの里在宅介護支援センターと上平間第二町会との連携プレーにより、高齢者が一命をとり止めた事例が紹介された事によって、沖縄県具志川市の社会福祉協議会から横田直子さん、島袋恒仁さん、宮里多恵子さん、与那嶺貴子さんの4人の専門家が参考になりたいとお見えになりました。

当町会から森会長と堤高齢社会部長が応対しました。予め資料を送ってありましたので、質疑応答の形で、何故この様な取組みが始まったのか、問題点はどんな事かなど活発にディスカッションしました。なお、具志川市の社会福祉関係者は大変に活発に活動している様子が、発言や頂いた資料から良く判りました。大いに参考になると思います。



後列左側が島袋・前左から与那嶺・宮里・横田の沖縄の皆さん

ストレス解消 ぶらり旅 ②

サラリーマンが管理職となつて責任ある地位につくと、多くの人は仕事の重圧と人間関係に悩み、その心労たるや、他人に理解されることがない。十数年前、悩みを抱え、気分転換を図るために、休日は必ずガイドブックを片手に、ぶらり散歩に出かける習慣ができた。昔日のことが懐かしく、再び、かつてのぶらり旅の跡を訪ねてみることにした。

京王線駒場東大前駅から徒歩7分のところに、日本近代文学館がある。老夫婦の旅だより⑫
フルネイの水上市集落の少年

ボルネオ島、現在のカリマンタン島にあるフルネイ王国は、小国だが大変に富める国で、国民は税金を払う必要がない。豊富な石油と天然ガスの恩恵で、医療や教育費までも無料の福祉国家である。

しかし、奇異に感じるものもある。フルネイ川に浮かぶ人口3万人を擁する世界最大の水上集落である。この集落には何から何まであつて、学校は勿論のこと、あらゆる公共施設が整っているが、ただ、トイレだけは川に垂れ流しである。下流にある広大なマンングロップの林がきれいに浄化してくれ

も良い思い出となっている。沼田さんの趣味は植木で、父親の代から引き継がれたものであるが、清右衛門宅にあった樹齢が、何百年のモチの木は、惜しい事に戦災で焼けて無くなってしまった。そうである。最後に「後輩の町会現役員に対するご叱責は」と伺ったところ、「何も無い」とご返事が返りました。沼田さんの人柄が表れたご返事だと思えます。

アマゾン珍紀行⑤ 旅は道連れと面白く

ブラジルは地球上に残っている最後の秘境といわれる。そこで、一念発起して友人Y氏と二人でアマゾン旅行した。

アマゾンでは、猛魚ピラニアを釣って唐揚げにして食べたり、滅多に遭遇できないピンク・イルカを見たけれど、とにかく想像を絶する大きな流れと、広大な浸水樹林には本当にビックリした。

ピラニア釣りに参加した。イグアスの滝は、その巨大なスケールにルーズベルト大統領夫人



ピラニア釣り

短歌

如月の名の如日々は凍て付けど春は間近に寄りて来るらし
近隣の鬼打豆の声に連れ
老も忘れて力み過ぎたり
石像の珍獣に降る花吹雪
明の陵墓の白き参道
長城の武士たちが生き様の語り部たるか物見の岩

川柳
老体を労わる代り痛めつけ
一ツ年重ねる度に若返えり
(健康体操)
(後家)

俳句愛好会の会員募集
俳句は五七五の短い詩の中に、日本人の感情、生活の知恵が凝縮されるといわれます。この程「ふれあいのひろば」の読者の声として、俳句の会をつくって欲しいとの要望がありました。初心者も大いに歓迎いたします。気軽にお電話をしてくださいます。五三三三五六のふれあいのひろばの原稿募集

「ふれあいのひろば」の紙面は町会員の皆さまの集まる「広場」です。思い出、旅行記、随筆、御意見、その他、何でも結構です。ただし、思想、信条、宗教、プライバシーに係るものは、受付できません。原稿は左記まで。



娘とナミビアの女性

上平間三三三 五三三三五六
堤 秀夫